

第72回車座集会（高津区）結果概要

1 開催概要 日時 令和7年1月26日（日） 10:00～12:00
場所 高津区役所5階第1会議室

(1) テーマ等

『キラリデッキから「ミソノクチ」を区民が誇れるまちに』
音楽やみどりに関わる団体や市民などと意見交換を行いました。

- ◆高津区長からキラリデッキのめざすべき姿の説明
- ◆参加者自己紹介
- ◆意見交換～アイデアとリソースのかけ合わせ～
参加者の「やりたいこと」や「できそうなこと」
をかけ合わせ

(2) 参加者、傍聴者

計22名（参加者19名、傍聴者3名）

2 アンケート結果

2ページ以降参照

3 意見交換の概要等

6ページ以降参照

第72回車座集会（高津区）アンケート集計結果

回答率：95%
参加者 18/19人

●今回の実施内容について

問1 本日の進行や時間配分はいかがでしたか。

(参加者)

よい	よくない	どちらともいえない
17	0	1

参考：(傍聴者)

よい	よくない	どちらともいえない
3	0	0

問2 本日参加した感想をお聞かせください。

(参加者)

有意義であった	有意義ではなかった	どちらともいえない
17	0	1

参考：(傍聴者)

有意義であった	有意義ではなかった	どちらともいえない
3	0	0

※その他 地域の皆様と一緒に作り上げる大切さを改めて感じました。
大変良かったです。

問3 本日の車座集会で心に残った発言や、意見交換を通じて得た新たな気づき、皆さん自身や参加者間の連携によりキラリデッキで取り組んでみたいアイデアなどがありましたら、御記入ください。

(参加者)

- ✓キラリデッキ活用+まちの魅力向上（プレーヤー・場の横連携）を目的として、エリマネ・運営チームの結成
- ✓多摩川クリーン作戦のような、キラリデッキクリーン作戦（自分たちできれいにすることで愛着をもってもらう）、夕涼み水打ち（子どもたち楽しんでくれそうです）。
- ✓イベントの発案時にもっと情報が知れて、そこに便乗できる仕組みがあるといい。
- ✓運営を持続するためには若い方の意見が重要だと思います。
- ✓溝ノ口劇場さんと協力してオープンマイク
- ✓やはり高校生の中で話すと、規模が狭くなってしまうのが、大人の、それも様々な場所から代表している方々とお話ができ、まだまだできることがたくさんあると気づけたので、共有して輪を広げていけたらなと思います。
- ✓ファーマーズマーケットをしたり、脱炭素をかけ合わせたり複合的なものが良い。
- ✓色々なハード面での課題は、今の状況でできることをくり返し、課題を解決しながら進化させていくという考え方にとても共感しました。
- ✓“つなぐ”、1人1人の“イシキ”など
- ✓ルール作り
- ✓第一に治安の良さ、雰囲気づくり。そのベースづくりが大切と感じます。

問3 本日の車座集会で心に残った発言や、意見交換を通じて得た新たな気づき、皆さん自身や参加者間の連携によりキラリデッキで取り組んでみたいアイデアなどがありましたら、御記入ください。

(参加者)

- ✓運営について。みどりのイベント。
- ✓アイデアを皆で話ができる場を持っていく。地域連携を続けていく。
- ✓若い人の意見を聞いて良かった。

参考：

(傍聴者)

- ✓ハブになる一員として関わっていきたいです。脱炭素のモデルとしてキラリデッキを更に活かしていきたいと思います。ライブカメラ（の設置）。
- ✓催事開催の申請の煩雑さはどこも誰でも感じているものだと感じたので、とりまとめる団体があるのはとても良いと思います。
- ✓ステージの活用方法と課題が印象に残りました（定点カメラも）。個人的にはステージで選挙演説をやってみたいです(^^;)

問4 今後、車座集会在開催された際に参加したいと思いますか。

(参加者)

発言者として参加したい	傍聴者として参加したい	参加したいと思わない	その他
11	7	1	0

※発言者と傍聴者の両方を選択した方が1名

参考：(傍聴者)

発言者として参加したい	傍聴者として参加したい	参加したいと思わない	その他
1	1	0	1

※その他 どのポジションになるかですが参加したいです。

問5 車座集会在取り上げてほしいテーマや御意見など

(参加者)

- ✓ KSPの活用について

参考：

(傍聴者)

- ✓ 高津区の外、別の区と連携しての車座等もありかと思いました。



令和7年1月26日実施 第72回車座集会

キラリデッキから「ミゾノクチ」を 区民が誇れるまちに

振り返り資料

高津区役所

参加者のキラリデッキへの想いの共有



「こんな場所になってほしい」

「子どもたちが活躍できる場所に」「心に残るシンボルができたら」

「滞留するためにも人が座る場所を」

「日陰がない」「トイレが怖いイメージなので明るい場所に」

「受け身じゃなく自分も参加者、作り手の1人と思えるような仕組みを」

「カフェ、ベンチ、花壇など“通る意味のある場所”に」

「マルイでやっているようなイベントをキラリデッキでも」

「汚いイメージの改善」

「来てよかった、楽しかったと言っていただけものを、ここにいる皆さん以外の方もいろいろ考えた上で進めて」

参加者の「やってみたい」

「“まちの企画室”の拡大版をキラリデッキで」

「イベントに電車キャラクターが出て、まちを盛り上げる一助に」

「ステージに立ったことがない人がステージに立てるような企画」

「溝口駅周辺に学校が4つある、学生が中心となったお祭りを開けたら」

「脱炭素×ダンス、脱炭素×緑、ぜひコラボレーションして」

「ステージを大人世代も使える、みんなが集まれる場所に」

「マルシェなど、横連携で実現」

「アイドル出演や学生のマンパワーで地域への参加を」

「線路側ももっと明るく、歩きやすく」

車座集会の成果



- キラリデッキをとりまく 地域のプレイヤーの顔合わせができた

当日さっそく
連絡先を交換!

- めざすべき姿を参加者と共有できた

めざすべき姿

～脱炭素を感じられる、区民が誇れる空間～

誰もが「ここはモデル地区!」と
わかるような脱炭素の取組の
「見える化」が進んでいくこと

区民や様々な主体が
居場所づくりに参加し、つながり、
活動が広がっていくこと

- めざすべき姿の実現に向けて
クリアすべき課題が見えてきた

課題

- ・「何かやりたい」という声を拾うための仕組み
- ・いろいろな人がキラリデッキを使うためのルールづくり
- ・キラリデッキ全体の活用に向けた運営体制づくり
- ・キラリデッキを地域で活用する機運醸成、実績づくり

- 参加者が横連携して課題解決に取り組む機運が生まれた

具体的なイベント予定（令和7年度）



① 4/19・20 KIRARI FES×ZOEN 2025

造園作家による植栽展示、アートのワークショップ、キッチンカー等をeM/Parkとキラリデッキで展開。

洗足学園、高津高校、JR武蔵溝ノ口駅なども協力予定！



※R6.4 ZOENの様子



② 6/21・22 KIRARI FES

地元産野菜のマルシェ、緑やアート関連の物販、ステージでの環境音楽演奏「オトノクチ」など。

概要が整ったら区役所から車座メンバーに参画呼びかけ



※R6.11 midoriba-Fesの様子

③ 11月上旬 KIRARI FES

「脱炭素アクションみぞのくち広場」と同日開催予定。

⇒ イベントを重ねる中で、参画団体を増やし
みんなで話し合いながらルールを作っていく

運営体制の構築（令和7年度）



- ・キラリデッキ全体の活用に向けた運営体制・手法の検討
- ・いろいろな人がキラリデッキを使うためのルール等の検討

規約等
作成

警察・消防
調整

イベント後援
周知広報

地域に対して
広く周知

R8.4～

事例のストック→マニュアル整備

取り組み経過
体制案について
車座集会

地域主体の
運営に移行

R6
車座集会

イベント①

イベント②

関係局調整

イベント③

R7年度末
地域主体の
運営体制
構築

車座集会参加者
周辺企業・団体

出入り自由な月例会

SDC相談窓口との連携

ステージ運営団体
との連携

地域の団体・事業者への
参画呼びかけ

イベントでの
参画呼びかけ

さらに利用しやすく
地域の人々が
キラリと輝ける
場所に！

- ・「何かやりたい」という声を拾うための仕組み
- ・キラリデッキを地域で活用する機運醸成・実績づくり